

大島・三宅島の上下変動*

国土地理院地殻調査部

大島・三宅島の上下変動で、1981年までの分については、本会報24号¹⁾で報告した。

第1図に既報分も含めて、1979年2-3月から1982年10-11月までの上下変動図を示す。

大島の今回の変動図では、水準点10210から岡田検潮所固定点までの、突き出し路線での変動分が、変動グラフを全体的に下方へシフトさせている。水準路線の閉じる水準点10210を不動として考えれば、岡田検潮所固定点の上がり、島東部の水準点10218付近の下がり若干認められるが、変動量はいずれも5mm程度で小さい。それ以外の区間では、顕著な変動は見られない。

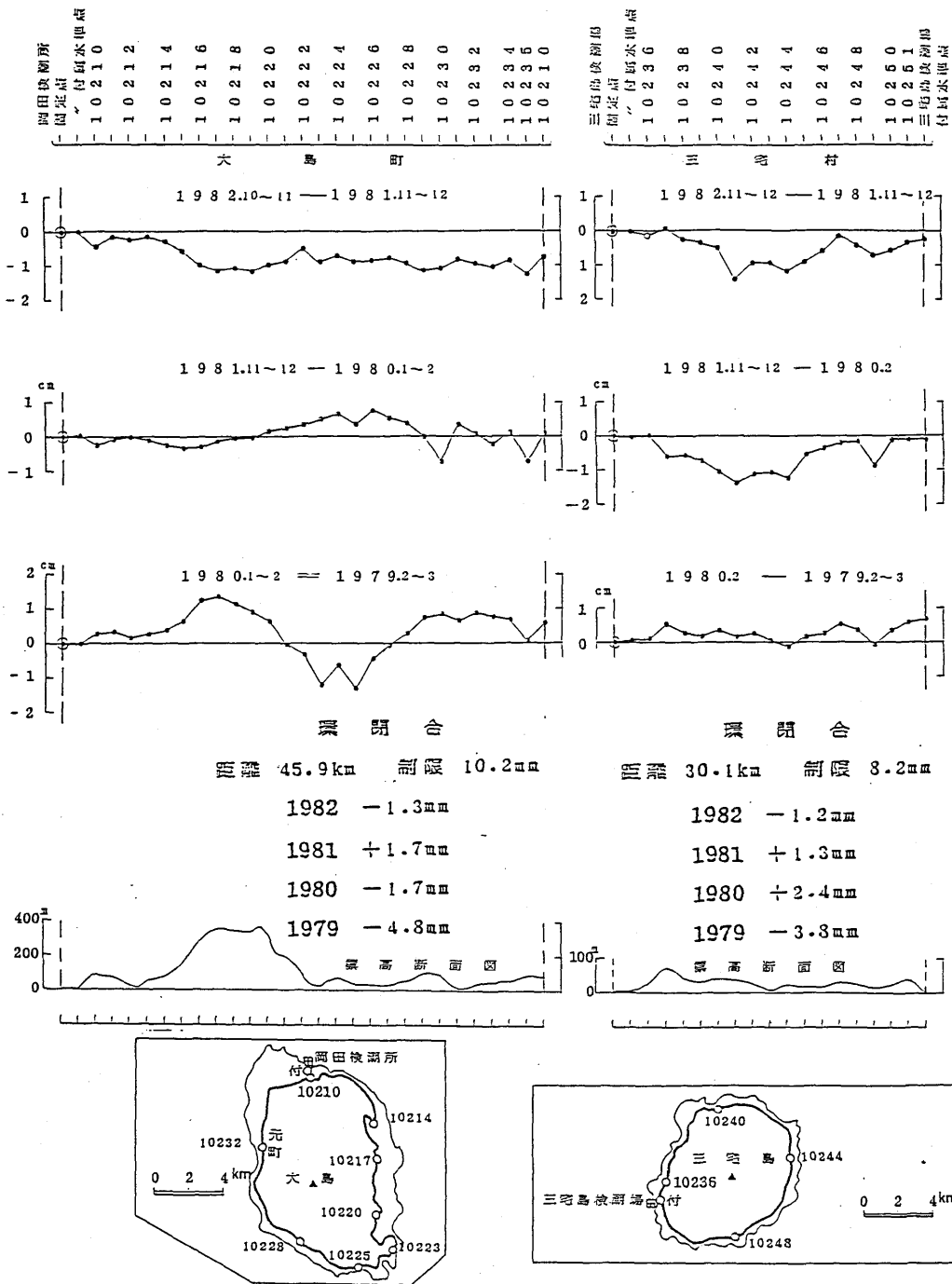
三宅島については、1980年2月から1981年11-12月の2年間にかけて観測された島の北部の相対的な沈下が、現在も引続いているのが分かる。今回の沈下量は、前回と同じく1cm程度であるが、変動図の期間が前回の半分の1年であることを考慮すれば、沈下は加速されているように見える。

本作業は科学技術振興調整費によるものである。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部(1982)：大島・三宅島の上下変動，噴火予知連絡会報，24，33-34.

* Received Apr. 11, 1983



第1図 大島・三宅島の上下変動

Fig.1 Vertical movements in Oshima Island and Miyatekejima Island.